

# 第18回 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議

## 議事要旨

日時：令和5年6月7日（水） 10:00～12:00

場所：八代市役所 301・302会議室

### ■やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議 委員（敬称略）

八代市	副市長	福島 誠治（会長）
八代市市政協力員協議会	会長	徳田 武治
八代商工会議所	副会頭	中山 英明（代理）
八代市商工会	会長	遠山 秀憲
八代森林組合	代表理事組合長	西坂 栄樹
八代漁業協同組合	代表理事組合長	平田 正一
有限会社 神園交通	代表取締役	神園 久二子
メルシャン株式会社八代工場	工場長	藤田 康範
一般社団法人DMOやつしろ	事務局長	永田 浩基
熊本県南広域本部	総務部長	猪原 英次
八代高等学校	副校長	大山 光（代理）
八代市教育委員会	委員	早田 蛍
株式会社 肥後銀行八代市役所支店	支店長	山下 たまき
株式会社 熊本銀行八代支店	副支店長	高巢 慎一郎
日本郵便株式会社 鏡郵便局	局長	樹本 有市
連合熊本県南地域協議会	事務局長	花岡 久美子（代理）
株式会社 エフエムやつしろ	代表取締役	吉住 一郎
八代市保育協会	会員	梅野 雄二

（欠席）

八代地域農業協同組合	代表理事組合長	山住 昭二
------------	---------	-------

<配付資料>

会議次第、出席者名簿

資料1 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議設置要綱

資料2 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議における効果検証スケジュールについて

資料3 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業に係る  
効果検証資料

資料4 八代市の発展に向けた施策について

参考資料 第2期「八代市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」概略版

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 説明（やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議について）

- ・資料1、2、参考資料 説明（企画政策課）

5. 議事

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業に係る効果検証について

- ・資料3 説明（各課）

- 3-1 DXによる八代圏域ツナガル推進事業  
（商工・港湾振興課）
- 3-2 ウェルネスフードを核とした商流拠点づくりプロジェクト  
（フードバレー推進課）
- 3-3 スマート農業技術の導入を軸とした担い手不足の解消と農業所得の向上事業  
（農林水産政策課）
- 3-4 アフターコロナを見据えたアウトドアツーリズム振興による関係人口の創出  
（観光・クルーズ振興課）
- 3-5 デジタル医療 MaaS 推進事業  
（健康福祉政策課）

・本資料は、令和4（2022）年度に国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用して実施した5つの事業について、行政内部において効果検証を行い、事業実施による地方創生への成果や課題、それらを踏まえた今後の事業の方針について取りまとめたもの。

・各事業に関する質疑や意見交換を行ったうえ事業評価を行う。

— 委員からの主な意見 —

■DXによる八代圏域ツナガル推進事業

- ・オシゴト図鑑については、小・中学校の義務教育の時から目に触れることができれば、将来を見据えて頑張ることが出来る子どもが増えて、八代市の学力向上につながるのではないかな。
- ・20歳から39歳といった子育て世代を対象とした遊び場や買い物できる場所があればという声を耳にする。長い目で見て、子どもを育てる環境を整えていく予定はあるかな。

■ウェルネスフードを核とした商流拠点づくりプロジェクト

- ・郡部でジビエの活用を進めているところだがなかなか上手くいかない。課題の1つとして個人経営がほとんどで、広い加工施設が無いことが挙げられる。一定の入荷数や金額を保障してもらえれば、安定して猟ができるのではないだろうか。そうすることで新しい商品が開発されると考える。加工施設への支援をお願いしたい。

■スマート農業技術の導入を軸とした担い手不足の解消と農業所得の向上事業

- ・稼ぐ上では「量」だけではなく「質」を考えることも重要ではないだろうか。スマート農業は非常に良いことだと思うが、それを活用してもう一步踏み込んだことができないかな。
- ・リビングラボに、農業関係以外、例えば食べる側の人を参画させるなど、対象者を拡充させると良い意見が取り入れられるのではないかな。

■アフターコロナを見据えたアウトドアツーリズム振興による関係人口の創出

- ・アウトドアツーリズムは多くの自治体が力を入れておりライバルが多い。そのためプロモーションにもしっかり力を入れていく必要がある。
- ・サイクリングについて、くまモンポートに訪れたいという観光客が多数いるが移動手段がない。駅に電動アシスト付自転車を設置してはどうか。
- ・八代は道幅が狭いこともあり、自動車側からみて自転車を邪魔だと感じる意識もあるのではないだろうか。サイクリストに対する優しい目が市民に生まれるように啓発を行う必要があるのではないかな。

■デジタル医療 MaaS 推進事業

- ・患者の固定化の話があったが、新規開拓の工夫はあるのかな。

★5事業の評価について、原案どおりで一同了承。

6. その他

八代市の発展に向けた施策について

- ・資料4 説明（会長）
- ・交付金事業以外の市の取組み（八代港の振興、新八代駅周辺整備及び企業誘致、保育料無償化、SDGs等）について説明。

— 委員からの主な意見—

- ・保育料の完全無償化について、預ける子どもが増えた際の保育園側の受入れ体制は整っているのか、保育士の健全な労働環境の確保にはしっかり務めていただきたい。
- ・発展的な物流拠点構想について八代港でも取り組まれているところ、加賀島については砂潟とって砂と潟で埋立地を作っている状況。この砂潟も漁場整備に再利用してみてはどうか。
- ・防災の面から意見として、球磨川氾濫による水害や台風による高潮が発生した際に、八代市内の広範囲が浸水する想定となっているなかで、八代市の全人口を避難させるのは難しい状況であると感じている。そのため、新しく作る建物にそういった一時的な避難のシステムを組み込めるよう工夫いただけると将来的に良いのではないか。

7. 閉会